

和の文化・和の芸術を語る会

この度 誇りある日本の歴史、先人たちの努力に思いを巡らし、「和の文化」「和の芸術」を語り合う楽しい講演会を、能楽堂ホール tenjin9 にて開催致します。
ご承知のとおり「能楽」「和食」をはじめ数多くの日本の伝統文化がユネスコ世界文化遺産に登録されています。「書」や「節句文化」なども登録を目指しています。
世界の人々が日本の文化、芸術に関心を持って日本を訪問します。そのような時私たち日本人自身が、もう一度「和」について理解を深め、日本の未来を創造する力に繋げていきたいと思えます。皆様お誘い合わせのうえご参加下さい。

岡山の歴史と未来を考える会
代表 大河原 喬

日時：2024年6月23日(日) 開演 15:00 (開場 14:30)

場所：能楽堂ホール tenjin9 岡山市北区天神町 9-24 RSK イノベーション・メディアセンター 1F

定員：200名 (入場無料)

I 基調講演



文化庁審議官 今泉柔剛 氏

「日本の文化政策のお話」～文化庁は『和』を応援しています～

東京大学文学部卒業、1994年文部省(現文部科学省)入省。スポーツ庁国際課長、日本スポーツ振興センター理事、スポーツ庁政策課長、東京大学理事等を歴任。2023年より文化庁審議官、文化庁総合調整本部副本部長。



書道家 高木聖雨 氏

「書の魅力とは、そして書の未来は」～ユネスコ無形文化遺産への挑戦～

岡山県総社市生まれ。青山杉雨氏に師事。1974年日展初入選、1989、1993年日展特選受賞、2006年日展会員賞受賞、2015年改組新第2回日展文部科学大臣賞受賞、2016年第13回マルセン文化大賞受賞、2017年恩賜賞・日本藝術院賞受賞。

日本藝術院会員、日展理事、読売書法会最高顧問・執行役員代表、全国書美術振興会理事長、全日本書道連盟副理事長、謙慎書道会理事長、大東文化大学名誉教授、北京大学書法藝術研究所客員教授、北京語言大学客員教授、寄鶴文社会長、郁文社主宰等。

II トークセッション

コーディネーター：衆議院議員 逢沢一郎

日本の節句文化を継承する議員連盟会長、刀剣と和鉄文化の保存振興議員連盟幹事長、伝統的工芸品産業振興議員連盟会長、書道議員連盟副会長、和装振興議員連盟 副会長等多岐に渡り日本文化を応援。



パネラー：高木聖雨、今泉柔剛、徳永夕子、安藤祐介 (敬称略)

主催：岡山の歴史と未来を考える会 大河原 喬 086-222-1553(携帯 090-3373-6020)

協賛：株式会社サピックス

※駐車場はございません、公共交通機関をご利用ください。